

平和・人権
社会・宗教
政治と暮らし
分かち合い

No.52

共に生きる

編集/〒806-0049 北九州市八幡西区穴生1-8-10 /瀬下幸弘 FAX093-622-1290

きさらぎ
如月
2
2015

人間の命こそ最も大切にされるべき
後藤健一さんいのちを守ろう

「イスラム国」の人質となっている後藤健一さんの命が脅かされています。人間の命をもてあそぶ行為はどんな理由をしても容認できません。いま私たちには祈ることしかできません。日本政府の努力に期待します。(1月29日)

5p. 沖縄から春の便り



世界遺産今帰仁城跡

沖縄いじめは決して許されない

まさに沖縄いじめです。憤りを隠せません。1年前の名護市長選結果を沖縄タイムスは「えげつなさ(札束をちらつかせるやり方)」と「まつとうさ」の戦いだったが「まつとうさ」が沖縄のパワーだと表現しました。11月の知事選では10万票の大差で翁長さんが勝利。そして衆議院選沖縄4選挙区すべてにおいて基地反対議員が当選。これほど沖縄県民の意思がはつきりとあらわれているにもかかわらず、安倍政権は逆に「肃々」と工事をすすめています。1月28日には辺野古海上の基地建設のために巨大なコンクリートブロックを海底に沈めました。沖縄県の許可のない工事です。沖縄県民は日本国民から排除されているとしか思えません。沖縄県民は、70年前の沖縄戦の悲劇を体験しています。土地を銃剣とブルドーザーで奪われ、戦後もずっと米軍基地を背負わされ、それゆえ親戚同士でも意見が対立したりしていました。しかし今、基地に頼らなくていいんだと沖縄は気づいたのです。根底にあるのは、重圧に苦しんできた県民の基地撤去を願う人びとの心からの叫びがあつたからです。それが「オール沖縄(沖縄に新たな基地はいらない)」を産み、共に連帯したのが衆議院選挙でした。安倍政権は、翁長知事の面会を拒むという恥ずかしい態度で挑んでいます。国民よりも米軍のために奉仕する姿勢は、民主主義の崩壊です。沖縄と全国の良識ある人びとと共に平和の声を響かせようではありませんか。

平和の願いを響かせよう



2月のお知らせ

- ◆2月7日(土)下関アムネスティ(下関市民活動センター)…14時 教科書問題シンポジウム(小倉ムーブ5F)…14時
- ◆2月8日(日)原発ゼロをめざす署名行動(JR黒崎駅前)…13時 崔昌華記念北九州人権集会(在日大韓小倉教会)…15時
- ◆2月10日(火)社会福音部会(アドラック)…13時30分
- ◆2月11日(水)信教の自由を守る2・11集会 日本キリスト教団小倉篠崎教会 p.2詳細…13時30分
- ◆2月28日(土)キリスト者9条守りたい(西南KCC)…14時
- ◆3月8日(日)さよなら原発北九州集会(三萩野公園)

世界人権宣言(谷川俊太郎訳)

第1条 みんな仲間だ

わたしたちはみな、生まれながらにして自由です。ひとりひとりがかけがえのない人間であり、その価値も同じです。だからたがいによく考え、助けあわねばなりません。

※共に生きるは、今号からこのコーナーに世界人権宣言を掲載します。(30条まであります。)

2月11日:イチイチ祈りの会

場所は黒崎教会小聖堂、午後1時30分。どなたでもお出でください。

2月11日(水)は信教の自由を守る日です。

2月11日が「建国記念の日」と定められたのは1966年です。敗戦を迎えるまで、それまでの日本は2月11日を「紀元節」としていました。簡単にいえば、歴史上実在しない神武天皇(カムヤマトイワレヒコノミコト)が即位した日を日本建国の日と明治6年に定められたのです。

戦後の日本は、平和の道を歩もうと新しい憲法を定めました。1947年(昭和22)に文部省は「あたらしい憲法のはなし」を中学1年生用に発行しました。憲法・民主主義・国際平和・主権在民などをわかりやすく説明した教科書です。その中で基本的人権を図式で次のように説明しています。「じぶんの思うことを言い」

信教の自由を守る2・11集会の御案内

- ・日 時／2月11日(水)午後1時半～4時半
- ・場 所／日本キリスト教団 小倉東篠崎教会
- ・講 演／「ドイツ教会における対ナチ闘争・戦責告白と今日の課題」
講 師 寺園喜基西南学院前院長
パネラー・朱 文洪さん(在日大韓小倉教会牧師)
・川本良明さん(教団・小倉日明教会牧師)
・瀬下幸弘さん(カトリック信徒)
- 《主催》 日本バプテスト連盟北九州地方連合社会ヤスクニ委員会・在日大韓基督教会西南地方会社会部・西南韓国基督教会館・日本基督教団北九州地区ヤスクニ人権委員会

「じぶんのすきな所に住み」「じぶんのすきな宗教を信じ」などです。つまりそれまで「国民の基本的人権は、これまでかるく考えられていましたので…これからもけつして侵すことのできない永久の権利である」と記しました。

ところが現在、この基本的人権に暗い影が忍び寄っています。教育基本法改悪、特別秘密保護法実施、集団的自衛権容認の閣議決定などで平和憲法が破壊されているように思えてなりません。2月11日を「建国記念の日」ではなく、「信教の自由を守る日」にしなくてはならないと、集会を企画しましたので、ぜひご参加下さい。(2・11集会実行委員会)

お知らせ

秋吉正子さんのお話を3月号に掲載予定です。1月24日のキリスト者9条の会でのお話しが大好評でした。タイトルは

「ある少国民の戦中・戦後」

二年前本紙に連続掲載した石井方子さんの「戦時下の暮らしと憲法9条」も好評でした。秋吉正子さんのお話しからも、私たちが後世に伝えていかねばならないことがきっとわかると思います。

2013年11月9日 下関講演

※編集の都合上、講演内容の要点を掲載しています。
文責／編集部

日本軍「慰安婦問題」とは何か

山下明子さんがその問題点を語る(15)



前号のポイント

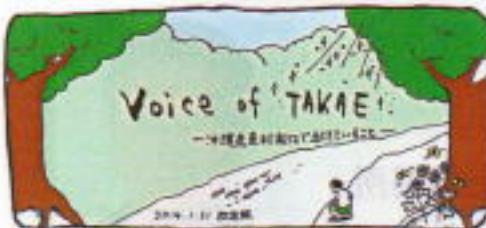
人権が全く無い人々が、自分の中で“これが人権なんだ”と理解したとき、その人自身が変化してくる。「慰安婦」にされた人たちも同じで、支援する側が勇気をもらいます。

「私たちのほうが癒されます。この水曜デモの場は癒しの場であり連帯の場です。」ここで中心になっているのは高校生です。若い人たちがこの運動を支えています。韓国全土でそうです。これはものすごい運動の力であり、「慰安婦」ハルモニたちが国境を越えて立ち上がったことがすごく大きいわけです。私たちはもう一度「人権」とか「正義とは何なのか」を考える必要があります。

今年(2013年)は世界人権宣言65周年です。政府も65周年をやります。アムネスティが出している宣言の条文、谷川俊太郎さんが訳された世界人権宣言をみんなに配っています。これは非常にわかりやすいと思います。ただ、この世界人権宣言で大切なのは

「はじめに」の部分です。

『ひとりひとりの人間は、生まれながらにしてかけがえのない値打ちと平等で奪うことのできない権利を持っています。それを認めることができ、自由で公平で平和な世界をつくる基本です。…』これは戦争の反省をもとに書いたものです。多くの人が亡くなり、そしてキリスト教文明の中でもこの戦争を阻止することができませんでした。この世界人権宣言に戦争を廃止し戦争のない社会を作るためには、貧困と差別の無い社会を作らなければならない。自由と平等、貧困と差別のない社会を作らねばということです。ヒューマンライツという言葉が出てきたのが1942年です。このヒューマンの中心になって出てくるのが「女性」なんです。女性が主体。もう一つが外国人が主体ということです。世界人権宣言の“世界”というのはユニバーサル、普遍的人権宣言のことです。人種とか国境とか民族とか年齢とか障害あるなしかかわらず、世界中の人にあてはまる普遍的な権利の宣言なのです。(次号へ)



沖縄をもっと知ろう

Voice of TAKAE

No.3

ひがしそんたかえ

2014年1月31日改定版より

沖縄県東村高江で起きていること

なぜ高江にヘリパッドが?

ヘリパッドとはヘリコプター離着陸帯のことですが、なぜ高江にヘリパッドが建設されることになったのでしょうか。

1995年、米兵による暴行事件に抗議する県民大会が開かれ、離島も含めておよそ10万人の人が集まりました。その直後の1996年に「基地の整理縮小」をかけて設置されたのが「沖縄に関する特別行動委員会(SACO)」です。日米両政府が最終報告に合意し、「SACO合意」が発表されました。でもこれは「沖縄の負担軽減」といながら、実際には「基地の先鋭化と日米安保強化」を目的としていました。このSACO合意で、北部訓練場の半分を返還する条件との名目で、返還予定地にあるヘリパッドを高江周辺に移設すること、海からの上陸作戦のための水域と土



沖縄通信員撮影

左の写真は沖縄本島最北端辺戸岬にある「祖国復帰闘争碑」です。祖国復帰は成し得たものの、沖縄県民の平和の願いに反し、軍事強化に逆利用されたが復帰を戦った大衆をこれからも信じ合い、平和への決意を新たにしようと建てられた碑です。

地(宇嘉川河口)の提供が決められたのです。合意の背景には新機種オスプレイの配備がありました。

《琉球朝日放送報道制作部 1.23より》 高江のヘリパッド建設に反対する市民らが23日県庁を訪れ、工事に反対する運動を強制排除するような動きはあってはならないと県に要請しました。

23日、市民らは座り込みを続けている県道70号の路側帯について日米共同使用を解除しアメリカ軍の専用道に戻すという報道をあげ「明らかに反対運動の強制排除だ」と指摘。アメリカ軍専用道に戻さないよう求めました。

これに対して親川基地防災統括監は「防衛局に問い合わせた所まだ決まっていないと回答を受けた」と説明しました。市民らは「決まってからでは遅い、基地負担軽減に逆行するものだ」と県に対し、翁長知事の公約のもと辺野古と同じく新たな基地は造らせないという姿勢を示すよう求めました。

虹の会

分かち合いのひととき

1月25日 17名参加

次回2015年2月22日ミサ後。
どなたでもご参加ください。

- 現在、大勢の兄弟姉妹の生活を苦しめている無関心のグローバル化に
対処するためには、わたしたち全員が、連帯と兄弟愛のグローバル化
を実現させる必要があります

2015年「世界平和の日」教皇メッセージ「もはや奴隸としてではなく、兄弟姉妹として」をもとに分かち合いました。

「兄弟愛を行動に表わすことの大切さを実感しました。それは、優しい言葉、あいさつ、微笑んだりといったささやかな日常のしぐさを通して役に立つことが出来ると思いました。」

「このメッセージを通して、僕の僕を生きようとする教皇がより身近に感じられました。」

「今起きている『イスラム国』の日本人人質事件のことも大変心を痛めています。無関心ではあってはならないと思います。」など、キリストの正義と愛のもとに対人関係を築くことの大切さが分かち合われました。

消費税と人権・平和を考える

(2)

安永 亮 税理士事務所

安永 亮 所長



憲法で「税」という言葉が出てくる条文は第30条と第84条です。

(第30条 国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う。)

(第84条 あらたに租税を課し、又は現行の租税を変更するには、法律又は法律の定める条件によることを必要とする。)

それで一般的に、憲法には国民の「納税の義務」が規定されていると理解されています。その理解の結果、いかなる内容の税金の負担も国民の義務なのだと意識しています。

しかし、そもそも憲法は、主権者たる国民が国家権力に対して勝手な振る舞いをさせないように守らせようと決めた約束事です。したがって、この2つの条文では、「法律の定めるところにより」と「法律又は法律の定める条件による」という部分がとても大事です。憲法は、国民は法律に基づかなければ課税されない(租税法律主義)と決めているのです。

それでは法律であれば、どんな内容の法律でも許されるのでしょうか？

憲法には第98条と第99条があります。

(第98条 この憲法は、国の最高法規であつて、その条規に反する法律、命令、詔勅及び国務に関するその他の行為又は一部は、その効力を有しない。(②項 省略)

(第99条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負う。)

すなわち、憲法の内容に反する法律は無効であり、行政・立法・司法に携わる者は、憲法の内容を尊重し守る義務があるのです。

4つの条文を読み合わせると、次のような理解となるでしょう。

国民は憲法の内容を守った法律によってのみ課税される。行政・立法・司法は、憲法の内容を守らねばならない。

次回は、それなら憲法が求める課税のあり方はどんな内容か考えていきましょう。

(赤ラインは編集部)

第20回『「崔昌華記念」北九州人権集会』 お知らせです。

講師：崔真碩氏

『朝鮮人はあなたに呼びかけている』

ファシズムの再来。蔓延する歴史修正主義。そして、常態化する排外主義。今ここからいかにして、社会を修復するのか。皆様と共に知恵を絞りたいと思います。

日時 2月8日(日) 15時-18時 会費 なし(席上カンパ)

場所 西南KCC(在日大韓・小倉教会) 駐車可

(北九州市小倉北区大田町14-31)

主催「崔昌華記念」北九州人権集会実行委員会

問い合わせ 編集部まで FAX 093-622-1290

《アムネスティ》下関通信 (No. 10)



1/23夜、この原稿を書いています。世界的に心配されている日本人二人の拘束事件は、今日午後72時間が過ぎても事態の進展はないようです。

昨1/22夜9時のNHKニュースは、アムネスティ日本が出たこの事件への声明文を主に次のように紹介しました。「このような行為を強く非難する。二人の解放のため日本政府があらゆる外交努力を尽くすよう求めます。民間人を人質にとる処刑行為は国際人道法が禁じる戦争犯罪であり、いかなる理由があっても正当化することはできない。」

今朝は私の町のカトリック教会で、エキュメニカル(超教派)の「一致祈祷礼拝」が持たれました。中心のメッセージは、教会には数世紀にわたり、互いの教



会を邪教だ、異端だと責め合ってきた不幸な歴史があるが、それを乗り越えたいと願う少数の群れはいずれの時代にもいた。両者が一致して集うところには、少数者故の「分ち合う大切さ」が発見されてきている。礼拝の後の交わりの折には、ゆうべアムネスティのニュースをみた、今日は共同祈願をしたかったとの声も聞かれ嬉しかったです。

先日パリで起きたテロ事件は、「民主主義への宣戦布告」と反応した市民によって、ただちに370万人の抗議デモに。ヨーロッパの人権意識の高さを知られました。

「小さな輪より大きな輪の一部になろう」とのことばを掲げて、3年前に発足したアムネスティ下関です。ゆっくりでも前進したいと願います。(2015.1.24 アムネ下関、山県)

おかしいと思うことに声をあげる勇気を

(札幌 E)



かりませんが、おかしいと思うことに声をあげる勇気を持ち続けたいとおもいます。歩みはゆっくりでも、一步を踏み出すことに意義があるはずですから。ひとりの力は弱くともつながることで動き出すと信じて。

西山進さんのマンガ、的を射てますね(權)

西山さんのマンガは毎回感心しています。ついでの折りに“よろしく”と御伝言を。 玉門

ヘイトスピーチをテレビでみましたが、ひどいですね。京都府議会の「『従軍慰安婦』問題の意見書を1票差で可決してしまい残念でしたが、アムネだよりで約300件の抗議文があったのは嬉しいです。そういえば、12月のアムネ例会で新しく入会された方があり、もっと嬉しかったです。

『共生』はページ数は少なくとも内容は充実しています。

「共生」はページ数は少なくとも内容は充実しています。



サクラ咲く(沖縄 中)

まだ五部咲きですけど今帰仁(なきじん)城跡は桜が咲いていました。ここは世界遺産に登録されたグスクです。首里城に匹敵する広い敷地ですよ。沖縄はあったかくて、自然がいっぱい、海がきれいで、人なつっこくて…なのにこんな沖縄で「基地がなくては生きていけない」っていう人もいますが本音じゃないと思います。親戚どうしが米軍基地のことで賛成・反対とか言っているがみ合うのをやめたいのが本音のようです。春よ来い来い、早く来い。



歩こう会、今年は4月5日です! (山田)

障がい者と一緒に烟貯水池を歩こう

毎年春に、八幡西区の畠貯水池1周5キロのコースをゆっくり歩いています。桜が満開でとっても気持ちのいい1日です。お弁当持参でどうぞ。

4月5日(日)白木橋駐車場 11時。
ピンゴゲーム景品をお寄せ下さい。

恵楓園で学びませんか (瀬下)

熊本県合志市にある国立ハンセン病療養所菊池恵楓園訪問を予定しています。

- ・とき…2015年4月29日(水、昭和の日)
発 AM8:00→10:30～15:30→帰 PM5:45
 - ・人数…24名位 マイクロバスで行きます。
 - ・費用…お一人3,000円位
 - ・申込はFAX 093-622-1290 又は下段メール

上記は予定です。3月4月号で詳細をお知らせします。感動の1日を体験しましょう。

カンパをありがとうございます(編集部)



届けられた切手

「ほんの少しでもカンパをいただけないと有り難いで
す。」と1月号に書いたところ、カンパだけでなく、切手
やご当地菓子まで頂きました。御礼申し上げます

読者が全国におられますので、人権と平和、その他近況などのいろんな情報をいただければ出来るだけ掲載したいと思います。写真もどうぞ。

メールアドレスは 共生編集部

アドロックは、株式会社

「正義と平和全国集会福岡大会」基調講演録(2014年9月13日)

東アジアの平和と福音的展望

韓国国民1%の済州島民と東アジアの平和実現を夢見ながら



カトリック韓国済州教区長

カン・ウイル司教

※文責／編集部

(4)

私は、国家といえばすぐ個人をはるかに超える何か崇高なものを感じます。国民みんなを守らなければならない尊い神聖な存在として国家を捉えがちだと思います。だから国の為に身を上げた人を昔から尊敬し、私は愛國者と呼びます。しかし人類が歩んできた歴史を冷静に顧みたら、果たして本当にそういう崇高な絶対的価値を持つのかどうか、もう少し疑つてみる必要があるのではないかと思います。なぜなら歴史の中で国家の名であるのではなく、少しおかしい不義と罪悪が公然と犯されてきたからです。そして国家の名で行動する人たちが国民全体の同意や共感を得ることなしに、少数権力者たちの偏った理念や権力の為に働く場合が非常に多かったからです。

今現存する地球上の国家の多くが建国100年や200年足らずの場合が大半です。現在の国家や民族意識は歴史的にみて初めからあつたわけではありません。国々の間で互いに侵略したり、侵略に抵抗したり、一方で抑圧すると他方で防御するという体験が蓄積されながら、比較的短い期間のあいだに形成されたのが國家という概念だと思います。

【アメリカ国家の形成】

今、世界最強の国力を誇っているアメリカという国家が建国されたのも1、789年で、225年位しか経っていません。それ以前はアメリカという国は存在しなかつたのです。その存在しなかつた国が、今世界をほとんど支配していると言つても過言では

ないと思います。アメリカが独立した頃、アメリカとカナダ地域に住むいわゆるネイティブ・アメリカンの人口は少なくとも1、000万人以上だつたと言われ、ヨーロッパ系移住民はその当時100万人程度しかいませんでした。しかし、100年の後、つまり19世紀末には完全に逆転しております。ヨーロッパ系移住民が1億人に達したのに比べ、ネイティブ・アメリカ人の数は50万人に激減してしまいました。想像を絶する比率の逆転が行われたのです。100年の間に何が起つたのか。アメリカの原住民たちは移住民からなるアメリカ政府の抑圧と、戦いによる殺戮、強制移住によって、飢餓と病で激減していったのです。最初はアメリカ東部の海岸都市に住んでいたヨーロッパ系移住民たちが、次第に自分たちの領土を拡張して行つて西の方へどんどん行きます。そして大陸全体を占領し、元の主人である原住民たちを狭い保護区域の中に閉じ込めてしましました。これがアメリカという国家と国民が形成された過程です。ヨーロッパから移住して来た人々は、アメリカ大陸の土地を代価を払つて買い入れたのではなく力で奪い取つたのです。そう考えてみれば、国家というものが本当にどの程度正当性というか、崇高な価値を持つことができるのか、疑問だけが大きく残るのです。そればかりでなく、今日に至つては、アメリカは国家安全保といふ名で、全世界に大きな負担をかけています。USAという国家安全のために世界各地に軍事基地を建設し、軍隊を派兵し必要なら戦争も辞さない、そして他の国々も引き入れていきます。(続く)

編集後記

テレビのスイッチを入れると「イスラム国」人質ニュースが飛び込んでいます。人命第一ですから、後藤健二さんが無事解放されることを願っています。ただ、どこの局も同じ報道ばかり。沖縄では「命こそ宝」として今必死に戦っている人びとがいます。70年前、住民を巻き込んだ地上戦があり、尊い命が失われました。その後の70年に及ぶ沖縄県民への重圧政策も「命」と無関係ではありません。沖縄では連日辺野古のことがテレビ報道されているのに、全国版では皆無に等しいと沖縄通信員から怒りの声が届いています。一方、国会では人質救出に自衛隊をとの論議も。後藤さんの命を利用すべきではない。(瀬下)